

大規模災害時を想定した「広域防災フロート」 派遣訓練を実施！

築港課・防災対策官・室蘭港湾事務所・浦河港湾事務所

12月5日～6日に、室蘭開発建設部が所有する「広域防災フロート※」を、災害発生時に迅速かつ円滑に派遣することを目的に、日高東部で地震が発生し浦河町が孤立したとの想定で、派遣訓練を実施しました。

5日は、地震発生後、浦河港の施設点検を行い、その結果をもとに、室蘭港から浦河港への派遣決定に係る関係機関との情報連絡が行われました。

6日は、「広域防災フロート派遣協議会委員」が集合し、派遣に当たり必要となる手続きや、安全管理、積み込む物資の確認など、本番さながらの緊張感の中で協議が行われ、必要な手順を確認しました。

予測できない災害の発生に備え、関係機関の連携強化が図られました。



当部の他に、室蘭労働基準監督署、室蘭海上保安部、室蘭運輸支局、胆振総合振興局、室蘭市港湾部、室蘭市消防本部、室蘭港湾振興会、(一社)室蘭建設業協会、(一社)日本埋立浚渫協会の方々が協議会委員として参加しました。

※広域防災フロートとは・・・

大規模災害時に被災地へ派遣し、緊急物資輸送、小型船の係留、臨時ヘリポートなど、災害復旧活動の支援施設として利用が可能です。東日本大震災時には、被災地に物資を運んだ後、その地域の港に常駐し、作業船係留施設として活躍しました。平常時は、港湾工事のコスト縮減のため、工事の資材置き場や作業ヤードとして活用されています。

広域防災フロート全景



ヘリポート利用状況